

『働き方改革』は ゆとりある工期から



発行・編集
三建建設業協会
広報委員会
三島市玉川250の2
電話〈055〉975-0332
ホームページ <http://www.misimakenkyo.jp>
発行日 毎月1日

尊い命の犠牲を協会は語り継ぎ 地域の防災・減災に全力尽くす

第2回役員会開く

三建（小野徹会長）は10月4日、協会中会議室で第2回役員会を開催した。冒頭あいさつに立った小野会長は「最近では地球温暖化が進み、米国では8月29日にテキサス州をハリケーンが襲って大変な被害になった。日本では7月5日



6日の九州北部豪雨災害で線状降水帯による時間雨量100mm以上の降雨が続き、41名の尊い命が失われた。三島市民会館では9月16日、17日に劇団DANの三島公演『狩野川台風』があり、この公演は何度見ても



静岡県東部農林事務所
農山村整備部技監
ます だ さとし
増 田 智 氏

【略歴】 1981年入庁、2010年東部農林事務所治山課長、2012年賀茂農林事務所農山村整備部長、2014年森林・林業研究センター技監、2015年中遠農林事務所農山村整備部技監を経て2016年4月より現職。



「自然の中で働きたい」という思いから森林・林業に携わる県職員の仕事に関心をもち、大学の農学部林学科を卒業後、静岡県に入庁した。最初赴任した部署は沼津林業事務所林地保全課（現東部農林事務所）。「保安林指定や保安林整備計画に伴う調査など業務が多忙

しまつ。県協会の7月理事会で沼津の協会長から、沼津工業高校の土木科が定員割れ等て無くなるとの情報があつた。引き継ぎ陳情を続けていくが、11月下旬に県教育長に沼工土木科の存続の『要望書』を提出することになった。中央建設審議会は平成29年7月4日付けの『建設産業政策2017+10』（若い人たちに明日の建設産業を語ろう）を受けて、7月25日に開催された。建設産業政策の具体的なことはこれから詰めることとなるが、主な点は①適正な工期設定のた



夜空を焦した夏の花火を髣髴させる大輪の菊絵巻
（楽寿園 撮影 青木久尚氏）

建設業の力は災害時に不可欠 今後も協力・支援呼び掛ける

林・林業再生プロジェクトにより、2017年末までに県産木材生産量50万立方メートルを達成させるという目標に向け業務に取り組んでおり、林業事業者・森林の防災意識向上を図るための治山セミナー開催などの

部下に対しては「一人で悩まないこと」と、気軽に先輩職員や上司に相談できるように風通しの良い職場環境づくりに取り組んでいる。現在、「ふじのくに森

の連携強化（市町村が主体となった建設業者の振興・発達の取り組み）振興策の策定など。また、中央建設審議会の審議内容は①社会保険未加入企業へのWポイントの

トムの撤廃②防災協定締結者への加算の拡大（地域建設業者を守るための具体化）③建設機械・タンク保有企業への加算評価④建設工事標準請負契約約款（公共用）で下請企業を社会保険加入企業に限定する条文を書き加えるなどである。私からは次のとおり意見表明した。①中小建設業者としても『働き方改革』に異論はない。しかし、中小建設業者の営業利益率は史上空前の利益を上げている大企業の6・2%から比べれば、半分にも満たない。つまり、『自分たちの利益が上がっていない、あやふやな経営状態』にあるのが実情である。全中建からは、『地方の建設会社が、安心して事業機会を確保できる仕組み』をお願いしているが、『改正品確法』の『運用指針』の考え方が、まだ地方自治体には行き渡っていない。例えば『品確法』で謳われた『発注者責任』において、『適正な利潤』で工事を発注するという趣旨から外れている例もある②生産性の向上のため、施工の標準化の推進をお願いする。地方自治体の発注する工事は、ほとんど

第44回建災防静岡支部大会

三島分会より東豆土木、海野建設が受賞

建設業労働災害防協会 誉に輝いた。

静岡県支部（木内藤男支部長）は10月13日、静岡県建設業労働災害防協会を静岡市内で開いた。静岡労働局、国土交通省中部地方整備局、静岡県等から来賓を招く中、『トップの決意と現場の実行ルール』をスローガンとして安全を誓った。表彰式では、三島分会から事業賞は東豆土木と海野建設、功労賞は堀井弘幸氏（堀井建設工業）、功績賞は森田崇氏（中林建設）と小松巖氏（小秀土建）、安全標語は佳作として中村和巳氏（山本建設）が受賞の栄



土屋建設が理事長表彰 建退共加入月間

勤労者退職金共済機構では毎年10月を「加入促進強化月間」と定め、事業促進を図っており、建退共制度の普及活動、加入拡大と適正な履行の確保促進を図っている。

この度、この加入促進月間にちなみ、三建会員の土屋建設が共済契約の適正履行の確保促進に尽力し、建設産業の発展と建設労働者の福祉の増進に寄与した功績が認められ、勤労者退職金共済機構理事長より表彰の栄誉に輝いた。

なお、同社に対する伝達式は10月4日開催の三建役員会の席上で行われ、小野会長から表彰状を手渡した。



舞ひ来たる落葉走らす神の池 斗潮
双雲や富士とコスモス従へ たちお
御霊屋（おたまや） 秋草
の色湧きたちぬ 呀栄
石仏の道を岐ちて野紺菊 真砂代



岬道（さきみち）の行く手の釣瓶落しかな 日差子
枝豆や丹波篠山より来る 日差子
洪柿の皮むく役は老の手も マサ子
閉ざされし役員室の鉦叩（かねたたき） 礼子
笑みよし泣き顔もよし七五三 和子
初冠雪主役となりし嬰のゐて 文化
水音に暮るる天城の虎落笛 藍子
小浜島流星群をほいしまま 文字
鼻や愛染堂はしんのやみ ツトム
寄与した功績が認められ、勤労者退職金共済機構理事長より表彰の栄誉に輝いた。

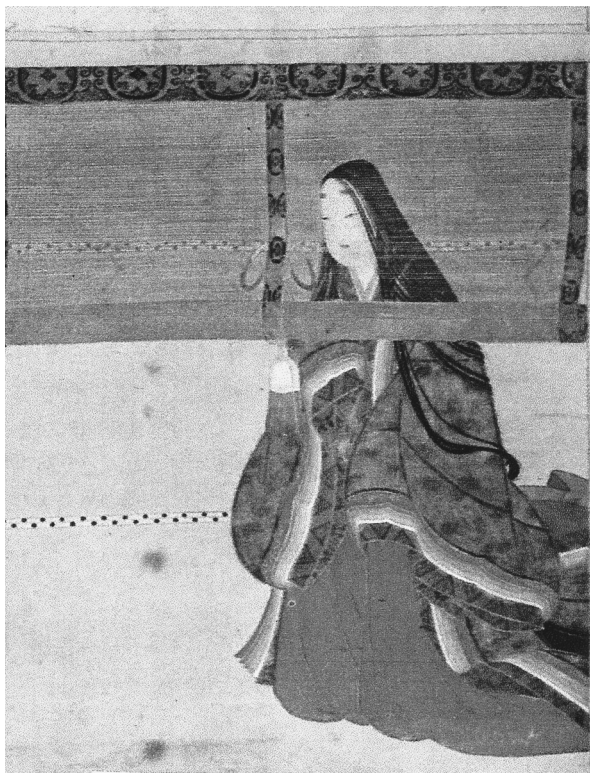
最後は零落した

平安の才女たち

和 泉 清

平安時代は女性が活躍した時代である。彼女らは我が国で創出された平仮名を駆使して、特に文学の世界で華やかな花を咲かせた。「小倉百人一首」には二人の女性が登場するが、この中で平安の才女と言われる人に小野小町、和泉式部、藤原道長治世の王朝文化の最盛期に、自らの才能の花を咲かせた。いづれも、当代きっての才女として名を馳せ、女性たちだが、彼女たちがどのような晩年を迎え、そして生涯を閉じていったのか、数多くの伝説が残されている。

言わばいづれも受領層の娘である。つまり地方官で官位は高くないが、結構力ネを貯め込むことが出来る家に生まれている。赤染衛門も和泉式部も同じく中級官吏の娘である。彼女たちは天皇の妃を出す資格のある上級貴族に見込まれ、后妃あるいはその候補の子女の教育に当たった。清少納言は藤原道隆の娘で、和泉式部は道長の娘で、赤染衛門は道長の娘の女房であった。紫式部は日記に同時代の才女たちについて書いてい



清 少 納 言

仕えが上がっているから、両者の接点はなかった。おそらく紫式部が日記に書いたころ、清少納言はかなりひどい零落ぶりであったのであろう。「古事談」に清少納言の晩年の話が載っている。荒れ果てた彼女の家の前を殿上人数人が通りかかった。「あの清少納言も随分落ちぶれたものだ」と話している。それを聞きつけた彼女は、破れ簾を押し上げて鬼のような姿で「駿馬の骨を賣わないか」と言ったという。「落ちぶれたって駿馬なんだから骨だってついてしまっているなどと言わせないで」とおどろかされた。清少納言は「あんなに落ちぶれたものだ」と話している。それを聞きつけた彼女は、破れ簾を押し上げて鬼のような姿で「駿馬の骨を賣わないか」と言ったという。「落ちぶれたって駿馬なんだから骨だってついてしまっているなどと言わせないで」とおどろかされた。清少納言は「あんなに落ちぶれたものだ」と話している。それを聞きつけた彼女は、破れ簾を押し上げて鬼のような姿で「駿馬の骨を賣わないか」と言ったという。

である。和泉式部は「浮かれ女」と噂されたように多くの男性を引き付ける魅力で遊び、その末に捨てられている。花の香は、移りけりない。私は、我が身世にふり、眺めせし間に。「暗きより、暗き道にぞ入りぬべき、はるかに照らす山月の端の月」は恋に悩む和泉式部や小野小町は都を離れ諸国を流浪したよう

彼女の心境を詠んでいる。同じように小野小町も、多くの男を美貌と才知でもて遊び、その末に捨てられている。花の香は、移りけりない。私は、我が身世にふり、眺めせし間に。「暗きより、暗き道にぞ入りぬべき、はるかに照らす山月の端の月」は恋に悩む和泉式部や小野小町は都を離れ諸国を流浪したよう



高齢者の人口割合が21%を超えると超高齢化社会と呼ばれることだが、熱海市は65歳以上の人口割合が45%となり、超高齢化社会をはるかに上回る都市となった。熱海市では少子高齢化・人口減少の影響により小中学校の多くは合併され廃校となり、祭りや運動会等の主要な地域行事には参加者が集まらないうえ、乗権する町内が増え、来ている。多分これから日本の至る所で同じような事が起こっていくであろう。

現在の人口・年齢構成から予測される将来の高齢者数は、大きく外れる事はな

は大幅に減少し、労働力の不足はどの業界においても深刻化して行くだろう。とりわけ国民の生命・財産を守るために重要なのは、超高齢化社会であっても災害大国である日本において災害は容赦なく襲ってくる。建設業

朽化したインフラの補修・整備も思いつくに進まずに、災害を受けた時に甚大な被害を被る事になりかねない。自衛隊・消防士が救援活動に向かうにも、一次復旧作業を行える地元建設業者が少なくなれば、復旧活動も大幅に遅れる事になり「災害弱者」である一人暮らしの高齢者の救出も困難を極めるだろう。医療・介護面では、医師・看護師・介護士不足により少数で多数の患者・介護者を診なければならず、満足

の高齢者を狙った振り込め詐欺等の犯罪が増える事と進み、北海道の水源地も外国資本による買収が問題視されている。そして、北朝鮮による挑発行為・暴走が激化する現在、少子高齢化・人口減少が急速に進む日本において、未来の「安全・安心」確保のために、何が必要なのか？国民一人一人が危機感を持って考えなければならぬ。

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

人が参加した。訓練では漏水補修金具を取り付けたり、管路付属施設の操作として、制水弁や空気弁の操作を行ったりした。

未来の「安全・安心」確保のために

三建広報委員 鈴木 光人 青木建設㈱



超高齢者の人口割合が21%を超えると超高齢化社会と呼ばれることだが、熱海市は65歳以上の人口割合が45%となり、超高齢化社会をはるかに上回る都市となった。熱海市では少子高齢化・人口減少の影響により小中学校の多くは合併され廃校となり、祭りや運動会等の主要な地域行事には参加者が集まらないうえ、乗権する町内が増え、来ている。多分これから日本の至る所で同じような事が起こっていくであろう。

現在の人口・年齢構成から予測される将来の高齢者数は、大きく外れる事はな

は大幅に減少し、労働力の不足はどの業界においても深刻化して行くだろう。とりわけ国民の生命・財産を守るために重要なのは、超高齢化社会であっても災害大国である日本において災害は容赦なく襲ってくる。建設業

朽化したインフラの補修・整備も思いつくに進まずに、災害を受けた時に甚大な被害を被る事になりかねない。自衛隊・消防士が救援活動に向かうにも、一次復旧作業を行える地元建設業者が少なくなれば、復旧活動も大幅に遅れる事になり「災害弱者」である一人暮らしの高齢者の救出も困難を極めるだろう。医療・介護面では、医師・看護師・介護士不足により少数で多数の患者・介護者を診なければならず、満足

の高齢者を狙った振り込め詐欺等の犯罪が増える事と進み、北海道の水源地も外国資本による買収が問題視されている。そして、北朝鮮による挑発行為・暴走が激化する現在、少子高齢化・人口減少が急速に進む日本において、未来の「安全・安心」確保のために、何が必要なのか？国民一人一人が危機感を持って考えなければならぬ。

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

人が参加した。訓練では漏水補修金具を取り付けたり、管路付属施設の操作として、制水弁や空気弁の操作を行ったりした。

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

静岡県企業局東部事務所は10月5日、富士川浄水場の水道技術研修施設で災害等応急対策協力業者を対象に漏水対策研修会を実施した。研修会には、同事務所が「災害または事故における応急対策業務」に関する協定を締結している三島建設業協会、沼津建設業協会、清水町建設事業協同組合の会員企業が参加、三建から4社6人参加

『優良産廃処理業者認定制度』 静岡県知事認定取得第一号

◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。

全国産業廃棄物連合会『優良事業所』表彰

電子マニフェスト即対応 (JWNET,e-reverse,e-マニフェスト) 工場見学随時受付

SEKI TRANSYS セキトランスシステム

HP <http://www.sekitransys.co.jp>

本 社 / 〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515-1 TEL <055> 988-6868

廃棄物中間処理	管理型最終処分場	クレーン作業
セメント処理対応	サマールサイクル施設	
破砕・圧縮・切断・溶融固化	焼却処分	埋立指定廃棄物に対応中
運輸・倉庫	テクパル	
家電リサイクル指定引取場所	住宅設備機器販売	太陽光発電システム販売

JIS工場からより良い製品をお届けします。

コンクリート製品の御用命の筋は下記の会社へ是非共お願い致します。

(営業品目)

土用間知ブロック・道路用製品他

土 屋 建 材 株式 会社

青木コンクリート工業 株式 会社

菅 尾 工 業 株式 会社

営業品目

砕 石・割 栗 石

間 知 石・埋土工事

立岩石材(株) 伊 豆 市 船 原 (0558) 8 7 - 0 8 3 1

二葉建設(株) 御 殿 場 市 新 橋 (0550) 8 2 - 2 0 8 7

サ、キ工業(株) 伊 東 市 萩 城 の 平 (0557) 3 7 - 8 5 8 7

伊豆地区採石業災害防止協議会

SHINKO

土木/解体工事・不動産事業

本 社:伊東市富戸1091-7 TEL0557-51-4755

工事部:伊東市吉田920-40 TEL0557-51-4362

産業廃棄物運搬・処分

処分場:伊東市富戸1285-17 TEL0557-51-4722

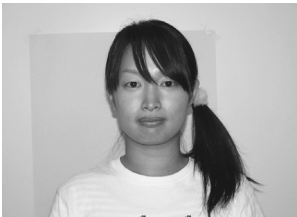
(株)新光重機土木

三建めぐり

学校法人のびる学園
のびる幼稚園 教諭

かきしま み ほ こ

柿島美保子さん



～あ、覚えていてくれたんだあ！～

産前産後休業と育児休業から仕事に復帰して、4年近くが経つ。休暇中、子育てを考え、「この仕事から離れてみよう」と悩んだ時期もあったが、小さいころからの憧れだった幼稚園の先生を続けたいという思いが勝った。

家庭と仕事の両立は周囲の理解や支え



愛し子と一緒に

がないとなかなか難しいが、「園長先生をはじめ、同僚の先生方の温かい心遣いや家族のサポートのおかげで働き続けることができています」と感謝する。

自身が通った「幼稚園の先生が優しく憧れだった」ことと、小学校時代に感じた「年の離れた従妹がとてもかわいかった」ことが今の職業を目指すきっかけになった。

教職に就いて10年、最初は理想と現実の違いに戸惑いも感じたが、根底にある「子どもが好き」という思いが全てのギャップを埋めた。「子どもは日々成長していきます。その成長の瞬間に立ち会えるのが何よりも楽しいです」と話す。が、苦労を忘れる瞬間は園内生活だけにはとどまらない。「先生！」。小中学生になった昔の幼稚園児が街で声を掛けてくれる。「あ、覚えていてくれたんだあ！」。

父が建設業を営んでいたため、ダンプカーやショベルカーに乗せてもらった幼児体験がある。「作業員のおじさん」も身近にいた。今でも建設現場を見るのは楽しいという。

「息子が4歳になり行動範囲も広がりました」と、休日は親子3人での「お出掛け」を楽しんでいる。沼津市出身で現在も在住、30歳。

フランス事情②⑥

セーヌの氾濫を知らせる「ズアーブ兵の像」

三建会長 小野 徹



ありし日のダイアナ妃

今から二十年前の、1997年(平成9年)8月31日……。ダイアナ元妃は、パリでパララッチの追跡を振り切ろうと、恋人と猛スピードで逃走中、誤って高速道路の壁に激突し、帰らぬ人となった。

その場所が、「アルマ橋」下のトンネルであった。セーヌ川は、全長780キロ。ブルゴーニュ地方の丘陵地に端を発し、あまり高低差がないために、その流れは狭い間隔で何度も蛇行を繰り返しながら、パリの中心部を貫き、ノルマンディーを通して、ドーバー海峡にそそいでいる。

しかも、ドーバー海峡からパリまで150キロもあるというのに、流域の水量は多いから、4,800トンの船が遡航できるほどだが、他方では「洪水」に見舞われるという難もある。「セーヌ遊覧」といえば、波おだやかで、周辺の



2016年にパリ中心部で増水したセーヌ川の周辺



サン・ルイ島の川岸にある1910年の洪水の水位を知らせるプレート

は、増水も半端な量では無く、パリも水没する危険があるのだ。極端だったのが、今からおよそ百年前の1910年1月、花の都パリは巨大な湖と化したのだ。パリは、セーヌ川のほとりに生まれ、ローマの属領時代から頻りに洪水に見舞われてきたが、都市として発展し、どんどん膨張していったおかげで、その被害も甚大で、街路一面が水で覆われたことなどから、「パリヴェニス」という当時の新聞の大見出しにもなっていました。



アルマ橋の橋脚に立つズアーブ兵の像



1910年の洪水を描いた絵

『パリが沈んだ日』という著書にもない、甚だしくは、かつてパリを襲った大洪水が、再びパリの街を飲み込んでしまったらどうなるかというパズルがひびき渡る。ア軍に勝ったクリミア半島の川の名で、これを祝って、1856年に完成した橋にその名がつけられたのだが、「ラ・ズアーブ」というこの大きな石像は、戦いで活躍したアルジェリア歩兵を顕彰したものと、何故なら、このズアーブ兵の像が、洪水を恐れるパリ市民の、セーヌの水位を測る目印とされているからで、セーヌが増水すると、テレビのニュースに、水に浸かったズアーブ兵が登場するのだ。

佐川美加

パリが沈んだ日

セーヌ川の洪水史

1910年1月、花の都は巨大な湖と化した。紀元前以来くりかえされてきたパリの洪水。都市型水害の原因をどこあかす、もうひとつのパリ史。

り大洪水から100年

白水社

耐震用構造部材、現場省力化商品、鉄筋加工品など特色有る商品群

- ファブデッキ：耐震性、居住性抜群、重量物載荷でもひび割れ無しの構造床材
- F B リング：閉鎖型せん断補強筋、フラッシュパット溶接で施工性抜群！
- パーメッシュ：異形鉄筋溶接金網、図面で割り付け、現場は置くだけ！
- SHC：熱間成形コラム、鉄本来の粘りを持った新発想の柱材・・・etc、詳しくは、当社営業までお問い合わせください。

ねじ1本からプラント用部材、
高層ビル用鉄骨材料まで
鉄の百貨店

柔軟な発想で鉄の未来をつくる

近藤鋼材株式会社

URL: <http://www.kondo-kouzai.co.jp>

メール: mail@kondo-kouzai.co.jp

沼津営業所 ☎ <055> 925-1900

FAX <055> 925-1970

静岡営業所 ☎ <054> 256-1200

FAX <054> 256-1220

伊豆営業所 ☎ <0558> 87-0500

FAX <0558> 87-1000

●JIS工場からより良い製品をお届け致します。

静岡県東部生コンクリート販売協同組合

事務所 沼津市足高338-1 電話 <055> 925-3344(代)
FAX <055> 925-3317

組 合 員

(株)イワタ沼津工場 二葉建設(株)生コン部

東宏生コンクリート工業株式会社 静岡生コン(株)

三島生コン(株) 野村マテリアルプロダクツ(株)伊豆さくら工場

(有)高田建材 裾野生コン(株)

(株)しょうじ建設函南生コン 渡邊工業株式会社

第一生コン工場

小野建設株式会社 (株)タカムラ生コン

修善寺生コン工場

有限会社長岡生コンクリート (株)古藤田生コン

新スルガ生コン(株) (株)広川生コン



“水”と“空気”と“環境”の良い住い作りに
花のある快適な暮らしのお手伝いをします。

総合設備設計・施工

(沼津市三島市及び近隣市町指定工事店)

株式会社 大石設備 “DAISETSU”

代表取締役 大石 千鶴子

本社/沼津市大岡525-7 TEL<055>962-7216

FAX<055>963-4879

三島支店/三島市錦ヶ丘3-12 TEL<055>975-7928

E-mail: daisetsu-soumu@krf.biglobe.ne.jp

創業100年・最新技術・末永いサービス
省エネと生活環境の向上を提供

空調・給水・給湯・衛生・上下水道・防災設備・設計・施工



片野設備株式会社

代表取締役社長 片 野 彰 一

ISO 9001
認証取得

〒411-0035 静岡県三島市大宮町3-3-12 TEL 055-971-2205(代) FAX 055-973-5246

E-mail: info@katanosetubi.co.jp URL <http://www.katanosetubi.co.jp>